

令和6年度 事業報告の内容報告

(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

令和6年度の京都の雇用情勢は、一部に厳しさが残るもの緩やかに持ち直しており、求人が求職を上回っている状況ですが、府内の令和6年度平均の有効求人倍率は1.23と前年から0.02ポイント上昇したものの、全国平均1.25倍より低くなっている状況です。

令和6年の京都府内の労働災害は、死亡者数は5人と前年に比べ12人の大幅な減少となっており、休業4日以上の死傷者数も、新型コロナウイルス感染関連の労働災害を除くと前年比-112人、4.2%の減少となっていますが、「第14次労働災害防止推進計画（2023～2027年）」に定める目標の達成は、依然厳しい状況にあります。

また、労働者の健康をめぐる状況については、京都府内事業場の定期健康診断の結果における有所見者割合は60.99%（対前年比0.16ポイント減少）となり、全国平均値59.23%を上回る高水準であり、脳・心臓疾患につながる血中脂質、血圧等にかかる有所見率も高水準で推移しています。

京都労働基準協会（以下「協会」）の諸事業は、京都労働局、各労働基準監督署及び会員事業場のご理解、ご支援をいただいて、関係団体と連携・協調し、創意工夫しながら事業を行ってまいりました。

1 労働行政への協力と労働基準協会各支部との連携

京都労働局、各労働基準監督署における労働行政の円滑な推進と、行政目標の実現に向け、積極的に協力するとともに、会報、協会・支部ホームページ等を活用し、労働行政の諸課題、関係法令の周知・広報等に努めました。

特に本部の会報である京都労基に関しては、京都労働局への独自原稿の寄稿要請、事務局による実技講習レポート、監督官日記連載、サラリーマン川柳等、会員の皆様に興味を持っていただける内容となるよう、心がけております。

また、本部、各支部が一体となって労働行政の推進を支援するとともに、講習事業等についての調整、応援体制の確保等を行うなど協会として業務推進体制の一体化を図りました。

2 会員事業場等へのサービスの向上と財政基盤の確立

令和6年度は、各種講習が計画どおり実施できたことはもとより、安全衛生大会や産業保健セミナーなどを始めとした催しも滞りなく開催でき、総会では令和5年に引き続き「記念講演」や「懇親会」を含めた完全な形で開催できました。

また、昨年11月には、協会設立10周年を記念しての式典行事も計画通り開催することができ、多くの会員の皆様とともに10年を振り返り、更なる発展を祈念しつつ懇親を深めました。

更には、新たな取り組みとして、12月9日、1月20日、2月21日の3日間にわたり、会員の皆様限定の「労務管理連続セミナー」を企画し、当初予定していた定員を超える延べ210名の参加者を得て開催することができました。

このように、様々な取り組みを行ってきたところですが、会員数については残念ながら減少傾向が続いております。年度当初と10周年記念式典時期に、本部が社労士事務所等、士業を中心に新規会員を集め、また園部支部による極めて積極的な勧誘活動もありましたが、事業廃止・他府県への移転、組織統合等による退会事業場が相次ぎ、最終的には24件の減少となりました。

令和6年度末現在の会員合計は2,475社(前年比34社増 58社減 差し引き24社減)となっています。

【会員数の推移】

	本 部	京都上	京都下	京都南	福知山	舞 鶴	丹 後	園 部	全 体
5年度末	114	255	238	394	452	343	420	283	2,499
6年度末	118	250	236	386	443	337	415	290	2,475
増 減	+4	▲5	▲2	▲8	▲9	▲6	▲5	+7	▲24

協会としては、その使命（京都で働く労働者の安全衛生確保と、労働条件確保改善、そのための労使へのサービスや情報提供等）を達成するため、多くの会員の維持・確保に努めてまいります。

3 本部・支部の協力

各種技能講習及び特別教育、セミナー事業等についての実施に当たっては、本部、支部が協力して開催する等の体制を確立しています。

支部事務局長会議は令和6年8月、1月、令和7年3月に開催し、各支部の事業実施状況の確認、本部からの連絡による意思統一等を図りました。通常はWebで開催しますが、1月の事務局長会議は本部と、ほぼ全ての各支部事務局長が一堂に会する場となりました。

4 安全衛生意識の高揚、自主的安全衛生管理活動の推進と快適職場の実現

(1) 京都労働安全衛生関係団体等連絡協議会の運営

「京都労働安全衛生関係団体等連絡協議会」(代表幹事：協会)において、各労働災害防止団体とともに京都府内における安全衛生活動の推進等についての協議・検討を行いました。

令和6年度の協議会も会場とWebの併用で実施し、第40回を迎えた「京都ゼロ災3か月運動」の実施の方針を確認するとともに、主催者として運営に当たりました。また、同協議会の教習部会において各団体等が実施する教習等についての調整を実施し、1万部余りの講習計画パンフレットを作成・配布するなど、京都全体の講習計画の広報に努めました。

京都安全衛生大会については、7月2日、平成30年から6年ぶりとなる京都テルサのテルサホールでの開催となりました。

本大会は、約600人以上の参加者を得てまた、昨年度同様、大会の模様を録画し、You Tubeでオンライン配信を行いました。

(2) 安全・衛生表彰の実施 (公益目的事業2)

令和6年度も従来どおり安全衛生大会にて安全・衛生表彰の授与を行いました。

京都労働局長等行政表彰、協会長表彰受賞者名簿は【別紙1】のとおりです。

(3) 第40回「京都ゼロ災3か月運動」の実施(7月1日～9月30日) (公益目的事業2)

例年とおり「トップの安全衛生に関する宣言」と「危険ゼロ」の取組による「災害ゼロ」の達成と「健康確保」を目指に取り組みました。

令和6年度の参加事業場数は2,233事業場(令和5年度 2,210事業場 前年度との差+23)、達成事業場数は2,144事業場(達成率：96.0% 令和5年度比0.1ポイント増)となりました。

無災害達成事業場には、主唱者である京都労働局長から達成証が交付されました。

所属団体ごとの達成事業場数は【別表1】のとおりです。

(4) 第 83 回全国産業安全衛生大会（広島大会）への協力 （公益目的事業 2）

11 月 13 日から 15 日の期間で第 83 回全国産業安全衛生大会が、「危険に気付くあなたの目そして摘み取る危険の芽みんなで築く職場の安全」をスローガンとして、広島県において開催されました。

今回の大会は協会会員の積極的な参加をお願いしました。京都府内からの参加者数（参加券購入数）は 82 名でした。

(5) 安全衛生等行事への協力と用品等の斡旋 （収益事業）

毎年の取組として全国安全週間、全国労働衛生週間や各種運動期間等における事業場での取組を支援するため、中災防のポスター、のぼり等の用品、「安全の指標」・「労働衛生のしおり」をはじめとする各種の参考図書等の斡旋を行い、事業場が実施する週間等への取組に協力しました。

（各種週間等）

○ストップ！転倒災害プロジェクト	転倒防止強調月間 6 月
○全国安全週間	7 月 1 日～7 日（準備期間は 6 月）
スローガン 「危険に気付くあなたの目そして摘み取る危険の芽みんなで築く職場の安全」	
○全国労働衛生週間	10 月 1 日～7 日（準備期間は 9 月）
スローガン 「推してます みんな笑顔の 健康職場」	
○年末年始無災害運動	12 月 15 日～1 月 15 日
スローガン 「今年もやります！基本作業の徹底 年末年始も無災害」	
○安全衛生教育促進運動	12 月 1 日～4 月 30 日
スローガン 「正しい知識で 職場を安全・健康に！」	

5 心とからだの健康確保対策の推進

(1) 「京都産業保健セミナー」の開催 （公益目的事業 2）

京都労働局、京都府医師会及び京都産業保健総合支援センター等と連携し、「全国労働衛生週間」中の行事として職場における心とからだの健康確保対策の推進を主眼とする「京都産業保健セミナー」を 10 月 7 日に池坊学園こころホールにおいて開催し、産業医、衛生管理者等 117 名にご参加者いただきました。

セミナーでは京都労働局担当官による「労働安全衛生行政の動向について～労働安全衛生法等に基づく新たな化学物質規制の概要他～」の講演と、京都産業保健総合支援センター 産業保健相談員 公認心理師 山下恵子氏による「職場での発達障害の理解と対応について」と題した特別講演を行いました。

京都安全衛生大会と同様、セミナーの模様の一部は録画し、You Tube で配信し、セミナーに参加できなかった方が視聴できるようにしました。（会報にて案内）

(2) 京都衛生管理者会総会等について （公益目的事業 2）

京都産業保健セミナーの開催に併せて、同日、京都衛生管理者会総会を開催し、滋賀（京都）産業保健総合支援センター 産業保健相談員 理学療法士 大塚洋氏による「職場の転倒防止対策」と題した講演を行っていただき、安全衛生衛生管理活動の充実に資することとしました。また、昨年度に引き続き、「交流会」も実施することができました。

協会が事務局として運営する「京都衛生管理者会」は、平成 15 年 6 月に発足して以来、毎年新規入会者が有り、現在では登録会員数が 800 名を超えてます。

6 技能講習・特別教育（公益目的事業 1）

事業場における安全衛生管理体制の確立、無資格者就労の根絶及び作業者等の安全衛生面の能力向上等を図るため、年間計画に基づき技能講習や特別教育等を実施しました。

令和 6 年度は計画していたものは全て開催したほか、会員のニーズに併せて保護具着用管理責任者教育等の追加講習を実施しました。コロナの影響からは脱していますが、今なお、コロナ禍時代と同様の定員設定（3人掛テーブルに2名の配置）としており、受講者にはゆったりとした会場環境を提供しております。

令和 6 年度は、受講者が一巡した「建築物石綿含有建材調査者講習」の受講者が大幅に減少しましたが、それを「保護具着用管理責任者教育」「化学物質管理者講習 1・2 時間コース」等が一定補っており、また、主要講習である有機溶剤作業主任者、特定化学物質等作業主任者の受講者は堅調で、全体の受講者数確保に寄与しています。

令和 6 年度における技能講習・特別教育等の実施状況は【別表 2】のとおりで、協会全体として、合計 191 回実施し、9,241 名の受講者を得ました。史上最高実績であった令和 5 年度を回数で 15 回、受講者数で 224 名上回っています。

なお、本部において令和 5 年 12 月に実現した「講習会等の WEB 受付」については、全支部からの導入希望も踏まえ、本部主導でその実現にを受け準備を進めてまいりました。本部・各支部間、各支部同士間でも申込受付にかかる事務処理、講習料金請求・受領にかかる事務処理、実技講習の運用に差異があり、これらの調整や、多種多様な支部講習をいかにしてWEB 申し込みシステムへ落とし込むか等、解決しなければならない問題が非常に多く、令和 6 年度においては各支部への説明会並びに本部システム会社を交えての協議を何度も繰り返しました。

その結果、令和 7 年 3 月度にはシステム改修内容を固め、4 月に改修を正式発注、7 月はじめに導入し、2 週間にわたって試行され、8 月 1 日から導入できる見込みとなりました。

7 巡回健康診断事業の実施 (公益目的事業 3)

支部事業として、令和 6 年度においても福知山支部、舞鶴支部、丹後支部、園部支部の 4 支部で実施しました。昨年度に引き続き、計画どおりの開催となり、受診者数は全体としては 58 名増加（対前年度増加率 0.3%）し、定期健診 19,976 名、特殊健診 984 名、労災 2 次健診 329 名、合計 21,289 名となりました。

【各支部受診者数】

(人)

	福知山支部	舞鶴支部	丹後支部	園部支部	合 計
定期健診	7,538	4,778	5,837	1,823	19,976
特殊健診	418	393	173	0	984
労災 2 次健診	123	90	116	0	329
合 計	8,079	5,261	6,126	1,823	21,289

注：特殊健診は、じん肺、有機溶剤、特定化学物質、鉛

8 労働基準関係等の各種教育・セミナーの実施 (公益目的事業 1)

協会は全国労働基準関係団体連合会京都府支部として、他の団体との協力により労働条件の確保改善・労働災害の防止等に関する各種教育・セミナーを実施しておりますが、令和 6 年度に実施した事業は次のとおりです。

(1) 全国労働基準関係団体連合会京都府支部事業

外国人技能実習制度関係者養成講習

「外国人の技能実習の適正な実施及び技能実習生の保護に関する法律」に基づく外国人技能実習制度関係者養成講習について、技能実習責任者講習、技能実習指導員講習、生活指導員講習を令和 6 年 9 月に実施しました。

(受講者数 技能実習責任者講習 6 名、技能実習指導員講習 3 名、生活指導員講習 6 名)

(2) 労働調査会共催事業 (公益目的事業 1)

建設雇用改善法に基づく雇用管理研修

「建設労働者の雇用の改善等に関する法律」に基づき建設事務所に選任・配置が義務付けられている「雇用管理責任者」に関する研修を4回開催（共催）し、参加者は計61名でした。

9 委託事業の実施 （公益目的事業2）

中小規模事業場における多様な安全衛生課題の解決に向けた取り組みに資するため、相談会の開催、安全衛生に関する専門的知識やノウハウを有する相談員による助言、情報提供等を通じて中小規模事業場の安全衛生水準の向上に寄与することを目的として中央労働災害防止協会から委託を受けた「中小規模事業場安全衛生相談事業（都道府県版）」（厚生労働省補助事業）を受託し、本部・支部において本事業による安全衛生相談を受け付けました。受付対応件数は197件（昨年度と同数）でした。

主要会議・行事等の開催

(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

開催年月日	会議・行事等の内容	開催場所
6. 4. 15	京都安全衛生大会第1回実行委員会 1 実行委員会役員等の選出 2 令和5年度安全衛生大会結果について 3 令和6年度京都安全衛生大会の内容及び次第（案）について	京都経済センター
6. 5. 7	協会 監事による会計監査実施	協会事務所
6. 5. 20	協会 第1回理事会（Web会議併用） 1 議案審議 第1号議案 令和5年度事業報告及び収支決算報告承認の件 第2号議案 役員選任の件（理事30名 監事2名） 第3号議案 重要な使用人候補について 第4号議案 令和6年度新入会員承認の件 第5号議案 令和6年度通常総会招集の件 2 報告 職務執行状況報告	京都経済センター
6. 6. 18	協会 通常総会 1 議案審議 報告事項 (1) 令和5年度事業報告の内容報告の件 (2) 令和6年度事業計画及び収支予算の内容報告の件 決議事項 第1号議案 令和5年4月1日から令和6年3月31日までの計算書類（財産目録を含む）の承認の件 第2号議案 理事30名選任の件 第3号議案 監事 2名選任の件 2 新入会員紹介	ホテルグランヴィア 京都
6. 6. 18	協会 第2回理事会 1 議案審議 第1号議案 役付理事選定の件 第2号議案 理事への使用人職務の委嘱の件 第3号議案 退任理事の顧問としての委嘱の件	ホテルグランヴィア 京都
6. 6. 6	京都産業保健セミナー運営会議 1 京都産業保健セミナーについて 2 衛生管理者会総会について	京都労働局
6. 6. 19	第1回京都労働安全衛生関係団体等連絡協議会 第2回京都安全衛生大会実行委員会（合同会議） 1 協議報告事項 (1) 大会タイムテーブルについて (2) 大会当日の役割分担について (3) 大会当日配布資料等について	京都経済センター

	(4) 安全衛生表彰について 2 その他	
6.7.2	<p>令和6年度京都安全衛生大会</p> <p>1 主催者代表挨拶 (公社)京都労働基準協会 会長 青山恵則 氏</p> <p>2 主唱者あいさつ 京都労働局長 角南 巍 氏</p> <p>3 祝辞 (一社) 京都府医師会副会長 谷口洋子 氏</p> <p>4 安全衛生表彰式</p> <p>5 事例発表 「安全衛生への取り組み」 株式会社 SCREEN グラフィックリューションズ 久御山事業所 ビジネス統轄部 副統轄部長 嶋岡 学 氏</p> <p>6 基調講演 「安全衛生の課題と対策」 京都労働局 健康安全課長 高塚 知紀 氏</p> <p>7 特別講演 「パワーハラセinzに部下を育てるノウハウ」 株式会社リスティックコミュニケーションズ 代表取締役 豊田直子 氏</p>	ロームシアター京都
6.8.1	京都衛生管理者会幹事会	京都経済センター
	1 京都産業保健セミナーについて 2 京都衛生管理者会総会について	
6.8.19	第1回支部事務局長会議	京都経済センター
	1 各支部の第1四半期の業務実施状況、今後の予定等 2 本部からの連絡事項 3 支部運営上の問題点について	
6.9.3	臨時事務局長会議	京都経済センター
	1 WEB 申し込みシステム改修にかかる説明 2 改修初期費用にかかる説明・協議 3 改修後のランニングコスト負担にかかる協議	
6.9.17	第2回京都労働安全衛生関係団体等連絡協議会 (Web会議併用)	京都経済センター
	1 労働災害発生状況と今後の対策について 2 「京都ゼロ災3か月運動」参加状況等について 3 令和6年度京都安全衛生大会について (総括)	
6.10.7	<p>京都産業保健セミナー</p> <p>1 主催者挨拶 (一社) 京都府医師会 産業保健担当理事 森口次郎 氏</p> <p>2 来賓挨拶 京都労働局健康安全課長 高塚知紀 氏</p> <p>3 講演 「労働安全衛生行政の動向について」 京都労働局健康安全課 主任地方労働衛生専門官 山田英輔 氏</p> <p>4 特別講演 「職場での発達障害の理解と対応について」 京都産業保健総合支援センター</p>	池坊学園こころ ホール

	5 閉会挨拶 産業保健相談員 公認心理師 山下恵子 氏 京都衛生管理者会代表幹事 佐本 一 氏	
6. 10. 7	京都衛生管理者会総会 1 講演 「職場の転倒防止対策」 滋賀（京都）産業保健総合支援センター 産業保健相談員 理学療法士 大塚洋 氏 2 事務局報告 京都衛生管理者会事務局	池坊学園こころ ホール
6. 11. 5	協会10周年記念行事 第一部 記念式典 1 主催者挨拶 会長 青山 恵則 2 来賓挨拶 京都労働局長 角南 巍 氏 京都府医師会長 松井道宣 氏 3 京都労働局長表彰 (協会功労者への表彰状・感謝状授与) 4 会長感謝状贈呈 (功労事業場への感謝状贈呈) 第二部 おしゃべりコンサート 音楽家 青島 広志 氏 テノール歌手 小野 勉 氏 第三部 懇親会	ホテルグランヴィア 京都
6. 11. 7	臨時事務局長会議 1 WEB 申し込みシステム改修の運用について 2 システム改修の仕様にかかる説明 3 各支部における講習手続きのすり合わせ	京都経済センター
6. 11. 20	協会3部会合同会議 (Web会議併用) 1 令和6年度上半期主要事業等の実施状況及び収支状況 (令和6年9月末) 2 令和6年度下半期主要事業の実施計画 3 その他 令和7年度総会までの予定	京都経済センター
6. 12. 18	第3回京都労働安全衛生関係団体等連絡協議会及び教習部会 (Web会議併用) 連絡協議会 1 令和6年労働災害発生状況 2 「京都ゼロ災3か月運動」の結果について 3 令和7年度京都安全衛生大会について 教習部会 1 令和7年度教習計画について 2 教習の広報について	京都経済センター
7. 1. 14	新年安全祈願祭・新年互例会 1 安全祈願祭（本殿） 2 新年互例会（参集殿）	下鴨神社
7. 1. 15	第2回支部事務局長会議	

	<p>1 各支部の第3四半期までの業務実施状況、経理状況、令和7年度事務局体制・役員体制・行事予定等報告</p> <p>2 本部からの連絡事項 内部監査結果 工作物石綿事前調査講習の新設について</p>	
7.3.10	<p>協会 第3回理事会 (Web会議併用)</p> <p>1 議案審議 第1号議案 令和7年度事業計画(案)及び正味財産増減予算(案) 審議の件 第2号議案 本部職員の処遇改善について 第3号議案 年度末特別一時金支給について 第4号議案 役員規程の変更について 第5号議案 新規会員入会承認の件</p> <p>2 報告 (1)職務執行状況報告について (2)令和6年度の本部経理状況について(令和6年1月末現在) (3)役員損害賠償責任保険の加入について</p>	京都経済センター
7.3.18	<p>第4回京都労働安全衛生関係団体等連絡協議会 (Web会議併用)</p> <p>1 令和6年の労働災害発生状況について 2 令和7年度安全衛生行政の重点課題等について 3 令和6年度会計報告について 4 令和7年度の事業計画について (1)京都ゼロ災3ヶ月運動(第41回)の展開について (2)令和7年度京都安全衛生大会について</p>	京都経済センター
7.3.18	<p>第3回支部事務局長会議</p> <p>1 各支部の令和6年度業務運営状況について 2 各支部の課題等について 3 講習のWEB申込システム改修について</p>	京都経済センター

公益社団法人全国労働基準関係団体連合会（全基連）関係

開催年月日	会議・行事等の内容	開催場所
6. 5. 29	令和6年度通常総会 1 議事 第1号議案 議事録署名人選任の件 第2号議案 令和5年度事業報告承認の件 第3号議案 令和5年度決算報告承認の件 第4号議案 役員選任の件 2 報告 (1) 令和6年度事業計画の件 (2) 令和6年度収支予算の件	TKP 東京駅カソフレンスセンター
6. 5. 29	令和6年度第1回支部事務局長全国会議 1 令和6年度受託事業の状況について 2 事務説明 (令和6年度技能実習生養成講習事業の留意点について等) 3 全国産業安全衛生大会の取組みについて	TKP 東京駅カソフレンスセンター
6. 5. 29	令和6年度受託事業等全国会議 1 受託事業紹介 (建設業の一人親方等安全衛生教育支援事業 等) 2 ブロック別の協議（オンライン化の現状と今後の取り組み方）	TKP 東京駅カソフレンスセンター
7. 3. 25	令和6年度第2回支部事務局長全国会議 1 令和6年度事業の実施結果と令和7年度事業の運営について 2 各委託事業の令和6年度実施結果と令和7年度応札状況について 3 令和7年度委託事業の進め方について 4 技能実習事業の令和6年度実施結果と令和7年度の進め方等について 5 その他の自主事業の運営について	Web 会議

中央労働災害防止協会（中災防）関係

開催年月日	会議・行事等の内容	開催場所
6. 5. 28	令和6年度通常総会 議事 第1号議案 令和5年度事業報告の承認を求める件 第2号議案 令和5年度決算の承認を求める件 第3号議案 令和6年度事業計画案審議の件 第4号議案 令和6年度収支予算案の審議の件	経団連会館
6. 11. 13～15	第83回全国産業安全衛生大会 広島大会	広島県立総合体育館
6. 12. 3	令和6年度近畿ブロック労働基準協会中災防業務連絡会議 1 中災防の令和6年度事業推進状況及び令和7年度事業計画について 2 各労働基準協会（連合会）の令和6年度事業推進状況及び令和7年度事業計画について 3 全国産業安全衛生大会 IN 大阪・近畿の運営について	中災防大阪労働衛生総合センター

【別紙1】

厚生労働大臣表彰

(敬称略、五十音順)

【功績賞】 [地域、団体又は関係事業場における安全衛生活動において指導的立場にあり、当該地域、団体又は関係事業場の安全衛生水準の向上に多大な功績をした個人に対する表彰]

小泉昭夫 (公益社団法人 京都保健会 理事 社会健康医学福祉研究所 所長)
三尾直士 (独立行政法人国立病院機構 八戸病院 病院長)

京都労働局長表彰

(敬称略、五十音順)

【優良賞】 [地域の中で、安全衛生 (安全確保対策、健康確保 (有害物) 対策、健康確保 (健康保持増進等) 対策、高年齢労働者の安全衛生対策、外国人労働者の安全衛生確保対策に関する水準が特に良好で他の模範であると認められる事業場又は企業に対する表彰)

<安全確保対策>

株式会社橋電 福知山工場

【奨励賞】 [地域の中で、安全衛生 (安全確保対策、健康確保 (有害物) 対策、健康確保 (健康保持増進等) 対策、高年齢労働者の安全衛生対策、外国人労働者の安全衛生確保対策に関する水準が良好で改善のための取り組みが他の模範と認められる事業場又は企業に対する表彰)

<安全確保対策>

三菱製紙株式会社 京都工場
山中産業株式会社 本社工場

<健康確保 (健康保持増進等) 対策>

社会福祉法人 青谷学園 障害者支援施設 青谷学園

<健康確保 (有害物) 対策>

株式会社大林組 大阪本店 西舞鶴道路上安久高架橋 P9 橋脚他工事

【功績賞】 「地域の中で、地域、団体又は関係事業場における安全衛生活動において指導的立場にあり、当該地域、団体又は関係事業場の安全衛生水準の向上発展に多大な貢献をした個人に対する表彰」

大江 栄 (丹後地区森林組合 代表理事専務)
長澤 康浩 (一般財団法人京都工場保健会 担当部長)
安井 博一 (京北森林組合 参事)

公益社団法人京都労働基準協会会长表彰

(敬称略、五十音順)

【事業場表彰】[安全衛生活動を活発に実施し、その進歩が著しく他の模範となる事業場に対する表彰]

関西電力送配電株式会社 伏見配電営業所

株式会社きんでん 京都支店

宝酒造株式会社 伏見工場

株式会社ニチゾウテック 京都事業部

ヒエン電工株式会社 長田野工場

雪印メグミルク株式会社 京都工場池上製造所

【個人表彰】 [安全衛生活動を活発に実施し、当該地域及び事業場における安全衛生水準の向上・発展に著しく貢献した者に対する表彰]

井上 幸与 (株式会社パックス・サワダ)

浦岡 道直

中山 義久 (福田金属箔粉工業株式会社)

錦織 隆 (株式会社 日進製作所)

西村 早苗 (株式会社 峰山鉄工所)

能登 誠 (元 株式会社川島織物セルコン)

福山 義朗 (元 公益社団法人京都労働基準協会 福知山支部)